

CO₂削減で児童たちに証明書授与

11月11日、福地小学校で市環境整備課の職員が4年生クラスに「環境カレンダー削減証明書」を授与しました。環境学習の一環で、児童たちが7月20日から8月31日までの43日間、日常生活の中で二酸化炭素削減に取り組んだ実績を証明するものです。

福地小の4年生クラス（24人）は、「ごはんを残さず食べる」「水道水を流しっぱなしにしない」などを実践し、12万7,367グラムの二酸化炭素削減を達成しました。市職員は児童たちに「削減量をガソリン車の走行距離に換算すると941キロメートル削減したことになる。これからも二酸化炭素削減をお願いします」と説明しました。児童たちは「へえ」「すごい」と地球温暖化防止への意識を高めたようでした。



まちの話題



若者が新しい生活様式の動画を寄贈

11月17日、市内に拠点を置くクリエイター集団「オフィスブロッサム」が、新しい生活様式の実践動画を市に寄贈しました。写真・動画撮影を手掛ける同団体の代表・カ久 健太さんは「コロナ禍で自分たちにできることは何かを探していました。その中で、たどり着いたのが新しい生活様式を楽しく伝える動画の制作でした」と話しました。

動画は3分弱の長さで、市長が出演し、手洗いやマスクの着用、手指の消毒を行う様子を、ナレーターがスポーツの実況風に紹介していく内容となっています。動画を視聴した市長は「大変ありがたい。行政が作ると堅苦しい動画になりがち。市民に楽しく実践してもらえれば」と期待を込めました。この動画は市公式YouTubeチャンネルで公開しています。



直方市自治区公民館連合会

まちづくり研修会を開催

11月20日、中央公民館で同連合会が「まちづくり研修会」を開催しました。市長を講師に迎え、行政と協働した魅力あるまちづくりに取り組むために、各自治区公民館長が研修を受けました。会長の田代英次さんは「より一層、市と連携したまちづくりを」と挨拶しました。市長は「日頃の尽力に感謝している。今後も、将来を見据えた地域づくりを皆さんと力を合わせて実現していきたい」と力を込めました。

また、新型コロナウイルスの感染防止対策のためとして、市に寄附金を寄せた同連合会に対し、感謝状を贈呈しました。



市のホームページでは、この他の話題も公開しています。





歴史と伝統文化のまち 植木校区

植木校区は、7自治区公民館、911世帯で構成されています。まちは千数百年の歴史があり、まとまりのある四十四賀会による強い絆で結ばれた独特の文化を持った地域です。

「三申踊り」や「天満宮ご神幸祭の大名行列」などの伝統文化の継承をはじめ、小中学校と地域との関わりを深める「植木文化祭」「餅つき大会」「むかし遊び」などで子どもたちの育成支援も行っています。

歴史あるまちをぶらっと散策できる「フットパス」のコースがありますので、多くの方々の訪問を歓迎いたします。

7自治区

上中、本横、下町、岡分、中ノ江、緑ヶ丘、光田

植木校区自治区目標

- ① まちの環境美化
- ② 挨拶運動
- ③ 防犯活動の推進
- ④ 児童の安全確保の推進
- ⑤ 老人・障がい者の安全確保の推進
- ⑥ 伝統文化の継承
- ⑦ 祭典等による活性化

行事内容



スポーツ振興
(ソフトバレーボール大会、スカットボール大会、グランドゴルフ大会)

小中学校との連携
(カラビナ活動、植木文化祭、餅つき大会、むかし遊び、しめ縄づくり)



伝統文化
(天満宮神幸祭「大名行列」、三申踊り、四十四賀会)

防犯と安全
(地域安全パトロール、学童交通指導)

地域振興
(まち中見て歩き「フットパス」)

